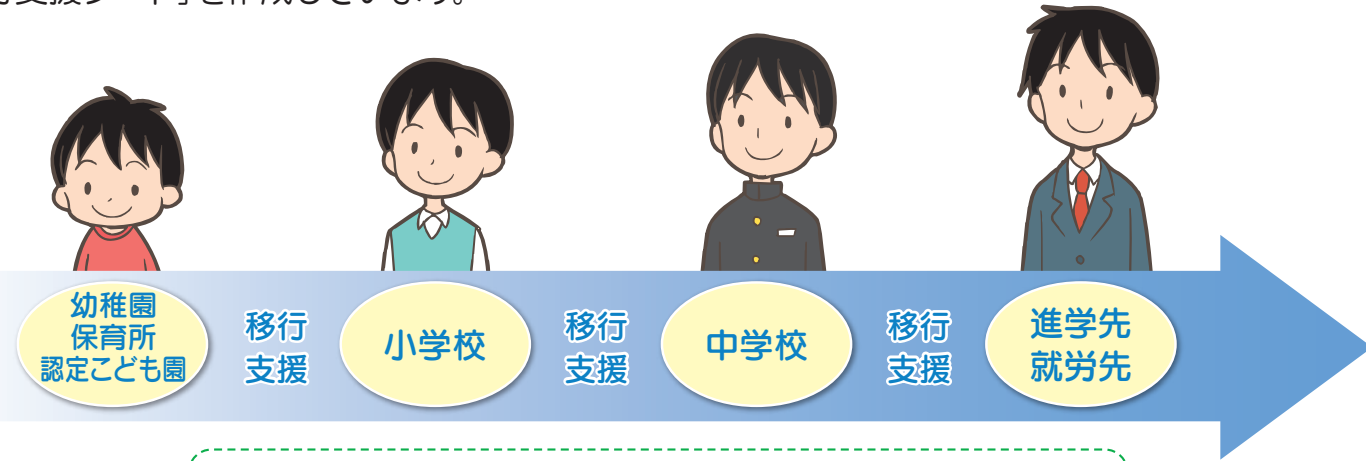


園や学校と保護者、関係機関等がしっかりとつながり、
ともに子どもたちを支えましょう。 ～とぎれない支援のために～

園や学校での効果的な支援を就学先・進路先へ確実に引き継ぐために、保護者と先生が協力して「移行支援シート」を作成しています。



移行支援シートは、熊本市のホームページよりダウンロードできます。
熊本市ホームページから「移行支援シート」で検索し、ご活用ください。

一人で悩まないで、相談してみましょう。

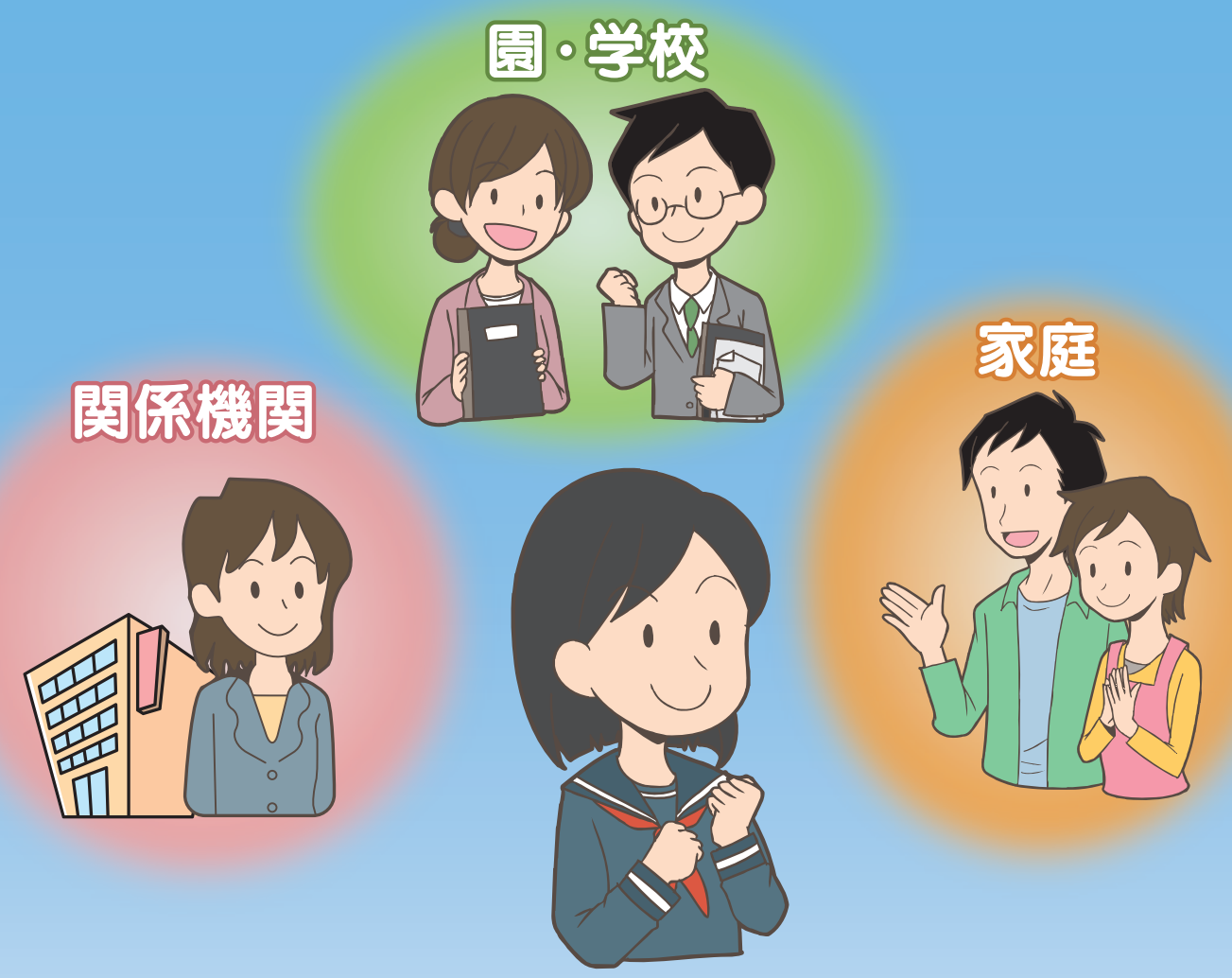


子どもさんの発達等にかかわる熊本市の主な相談機関

発達や就学、不登校等に関すること(年長児から)	熊本市教育委員会 総合支援課 教育相談室 (こどもセンター あいばるくまもと2階)	☎096-362-7070
18歳までの子どもの発達に関すること	熊本市 子ども発達支援センター (ウェルパルクまもと2階)	☎096-366-8240
発達障がいに関すること	熊本市 発達障がい者支援センター みなわ (ウェルパルクまもと2階)	☎096-366-1919
子ども・若者に関するあらゆる相談	熊本市 子ども・若者総合相談センター (ウェルパルクまもと2階)	☎096-361-2525 (24時間年中無休受付)
ひきこもりに関する相談(おおむね10代～)	ひきこもり支援センター「りんく」 (ウェルパルクまもと3階)	☎096-366-2220
子どもの養育、虐待や非行等に関すること	熊本市 児童相談所 (こどもセンター あいばるくまもと3階)	☎096-366-8181
特別支援教育全般に関すること	熊本市教育委員会 総合支援課 特別支援教育室	☎096-328-2743
身体障害者手帳、療育手帳等、福祉制度の相談に関すること	各区役所の福祉課へお問い合わせください	

ともに支える
特別支援教育を
めざして

～子どもたちの理解と支援のために～



特別支援教育とは…
障がいのある子どもを含め、特別な教育的支援を必要とする子ども一人一人の教育的ニーズを把握して、適切な指導および必要な支援を行うものです。

例えば、こんなことはありませんか？

- 読む、書く、話す、聞く、計算する等、いずれかの場面で困っている。
- スケジュールの変更を気にしたり、環境が変わると落ち着かなかったりする。
- ささいなことで、友だちともめてしまう。
- 自分で計画を立てることが苦手である。
- 約束やルールを理解していないとすることがある。
- 友だちとうまくかわることが苦手である、相手の気持ちに気付かない。

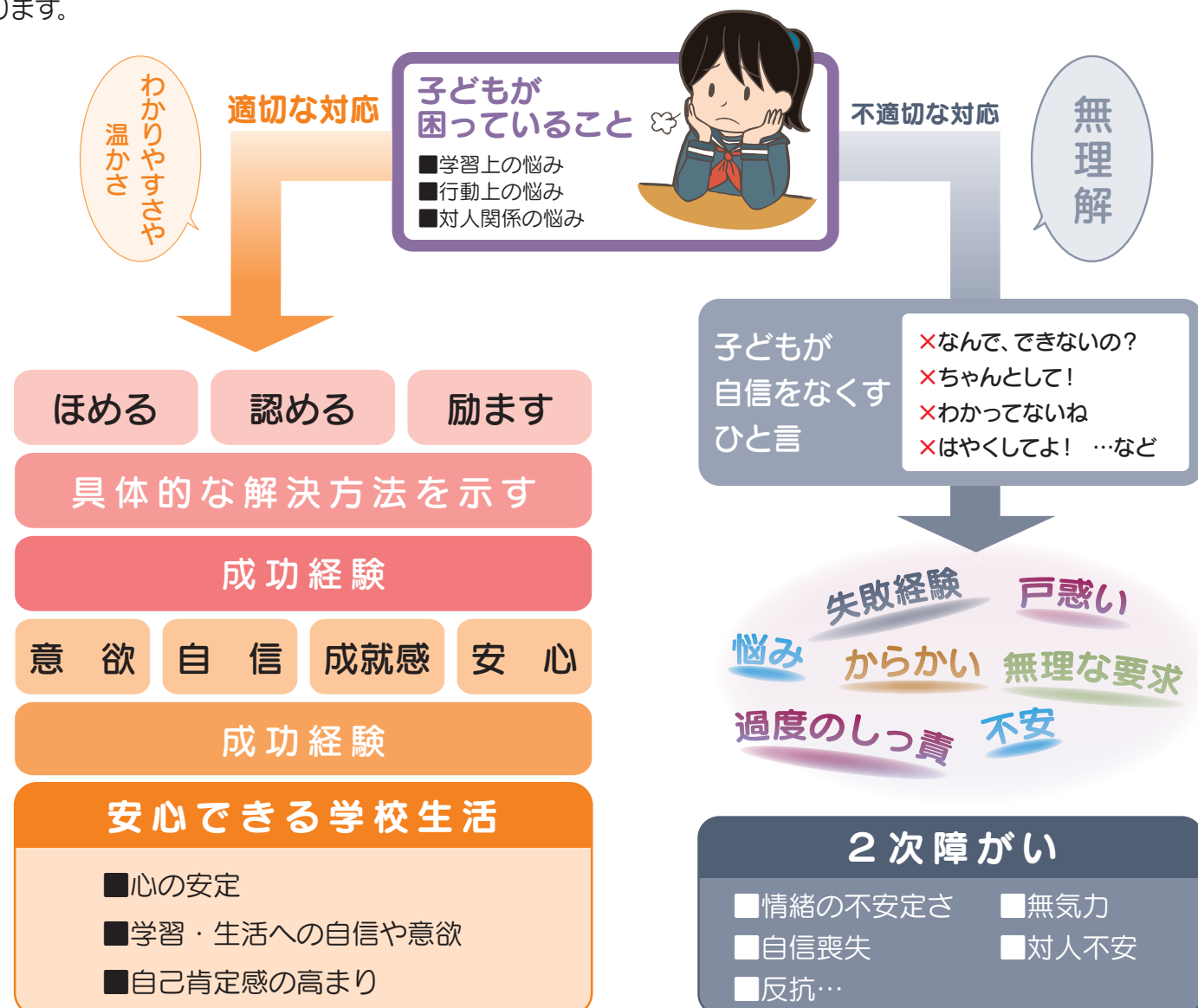
…など

このような特徴がいくつかあてはまる子どもさんの中には、学校において特別な配慮や支援が必要な場合があります。



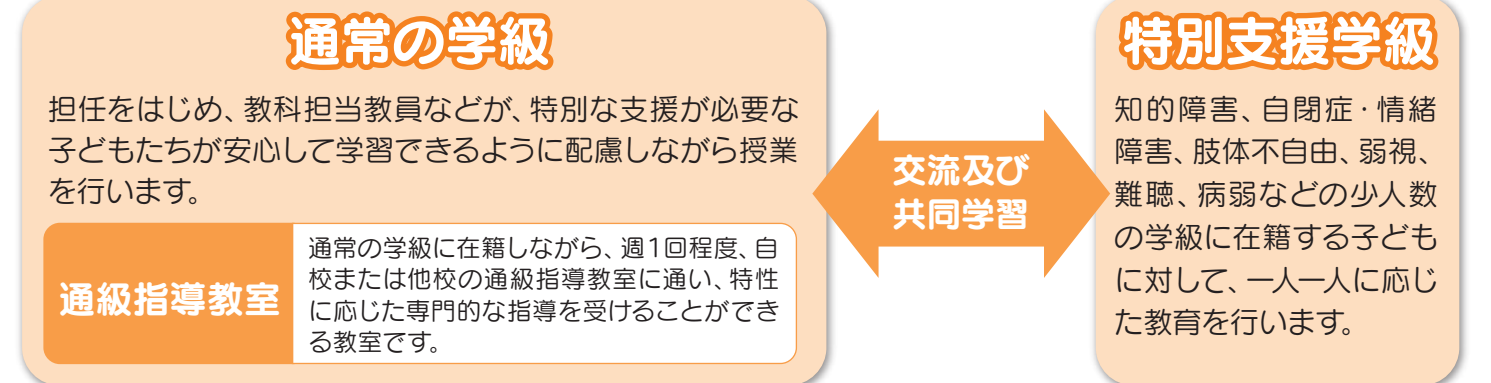
まず、子どもさんに寄り添い、その姿を認め、自信を育てていきましょう。

失敗経験が重なると、2次障がいあらわれてくることもあります。日ごろから温かい対応に努め、支援者間で適切な支援方法を見つけていきましょう。成功経験を積み重ねることが、子どもさんの学校生活の充実につながります。



各学校において、特別支援教育に取り組んでいます。

中学校では、特別な教育的支援を必要とする子どもさんに対して、校内支援体制を整備し、学校全体で支援をしています。子どもさんの特性や障がいの状態に応じて通常の学級や特別支援学級での指導、通級による指導が行われています。



子どもさんの学校生活、学習、将来の進路などで気になるときは…

まずは、学校へご相談ください。

学校への相談から支援までの流れ

1 「教育相談」

相談窓口は…

- 学級担任
- 特別支援教育コーディネーター
- 学年主任や養護教諭など

学校内や関係機関との連絡・調整をする役割を担います。



2 「校内での支援」

- 校内委員会を開催するなどして、職員間で情報交換を行い、支援体制を検討します。
- 必要に応じて、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」を作成します。
- 担任や教科担当、学年部など、学校全体で対応します。
- スクールカウンセラーや関係機関との連携を図ります。

3 指導、支援方法の見直しや改善